

入院受入病床ひっ迫への対応について

○ 入院受入病床の増床

入院受入病床について、市立札幌病院が20床増床（70床→90床）したことをはじめ、フェーズ3相当の体制から、さらに約40床程度増床して対応中。

○ 医療機関向け緊急メッセージ

医療提供体制における危機感の共有及び新たな入院受入医療機関の確保のため、令和3年4月26日、市長から市内医療機関に対し緊急メッセージを配信。

その後、複数の医療機関と新規受入病床確保に向けた協議を実施中。

○ 後方支援病院への転院促進

GW期間中も含め、退院基準を満たした高齢者等について、後方支援病院への転院を促進。

○ 自宅療養への移行促進

入院受入病院の病床を新規陽性者の受入に最大限活用するため、退院基準を満たす数日前の患者で、医学的に入院による治療継続が必要ないと判断される患者を、自宅療養に移行する取組を開始。

○ 市外医療機関への患者搬送

北海道との連携により、入院が必要な患者について、市外の医療機関も含めた入院調整を実施。

○ 入院待機ステーション（仮）の整備

新規陽性者の急増により、自宅等から救急搬送される陽性者の搬送先が決まらず、救急車内で待機するようになる事態を避けるため、搬送先が決まるまでの間、一時的に患者を待機させる「入院待機ステーション（仮）」の整備を検討中。

○ 宿泊療養の体制強化

宿泊療養施設における容体の悪化に対応するため、看護師の増員や医療資機材を準備し、酸素投与等を行える体制を検討中。

各区における啓発活動について

(2021. 05. 02 地域振興部)

1 目的

市内全域でコロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、各区の繁華街等において、「ゴールデンウィーク特別対策」期間における市民への要請内容を放送することによって、市民に対し行動変容を求め、人流の削減を図るもの

2 実施内容

各区において、繁華街、商店街、地下鉄駅等の人の集まりやすい場所・時間帯に公用車を巡回させる等の方法により、外出自粛等を求める内容を放送する。

3 実施期間

5月3日（月）～5月11日 夕方又は夜間

※ ゴールデンウィーク特別対策期間中の実施を想定するが、その後の実施については人流の削減状況等を踏まえ判断する。

4 放送内容

(文例)

札幌市からのお知らせです。現在、5月11日までの期間を「ゴールデンウィーク特別対策」期間とし、「不要不急の外出や往来の自粛」、「市内飲食店の21時から翌日5時までの利用自粛」、「同居していない方との飲食自粛」をお願いしています。

この期間に人と人との接触を徹底的に減らし、感染拡大を抑え込むことが重要です。ゴールデンウィーク期間中のステイホームについて、どうかご理解とご協力をお願いします。

5 各区の検討状況

全ての区において、夕方又は夜間に公用車を巡回させる等の方法により、啓発を実施予定

区	エリア（想定）	区	エリア（想定）
中央区	すすきの	豊平区	月寒、平岸、西岡
北区	札幌駅北口、北24条、麻生	清田区	国道36号線、大型集客施設
東区	東豊線各駅	南区	澄川
白石区	本郷商店街、南郷通、東札幌	西区	琴似
厚別区	新札幌	手稲区	下手稲通、JR手稲駅南口

令和3年（2021年）5月2日

ゴールデンウィーク特別対策期間（4/24～5/11）における公園での飲酒対応について

1 目的

4月27日からの飲食店への時短要請に伴い、大通公園・創成川公園及び中島公園において夜間飲酒をするグループが目立つことから、新型コロナウイルス感染防止の徹底のために啓発活動・注意喚起を行うもの。

2 対象公園（範囲）

- (1) 大通公園（西1丁目～西5丁目）
- (2) 創成川公園（国道36号線～大通付近）
- (3) 中島公園（地下鉄中島公園駅付近）

3 実施日

4月30日（金）～5月11日（火）

4 実施方法

- (1) 徒歩による巡回及び声掛け

時間：20：00～23：00を想定（1班2～3人体制で2巡する）

※飲食自粛のお願いとし、注意喚起を行う。

- (2) 大通公園における園内放送（西3丁目）

啓発文

札幌市から市民のみなさまへお願いです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公園内では大人数や長時間の飲食や飲酒を伴う集まりは控え、会話のときはマスクをするなど感染リスクを下げる行動を取るようにしましょう。